

研究課題名：

限局性小細胞癌への化学放射線治療の照射期間延長 の生存期間に及ぼす影響、後視的多施設共同研究

研究責任者：浦安病院放射線科 齋藤アンネ優子

研究分担者：順天堂医院放射線科 笹井啓資、小杉康夫、
練馬病院放射線科直居豊

研究の意義と目的：

限局型小細胞肺癌に対する標準療法は化学療法を併用した胸部放射線治療ですが、化学療法を行うと汎血球減少という有害事象がおこることがあります。重度の汎血球減少がおこった場合、多くの施設では血球数が回復するまで放射線療法を休止しますが、当院では放射線療法を中止しても化学療法による有害事象は緩和しないと考え、7年前から放射線療法の休止期間を可能な限りゼロにする試みを行っております。

観察研究の方法：

本研究の対象となる患者さんは、限局型の小細胞肺癌の方で、西暦 1995 年 1 月 1 日から西暦 2016 年 9 月 30 日の間に放射線科で 1 日 2 回（朝と夕方）の合計 30 回の治療（検査）を受けた方です。

利用させていただくカルテ情報は下記です。

例：診断名、年齢、性別、身体所見、検査結果（血液検査、画像検査、心電図検査）

研究実施期間：西暦 2016 年 10 月 1 日 ～ 西暦 2020 年 3 月 31 日

被験者の保護：

本研究に関係するすべての研究者は、ヘルシンキ宣言（2013 年 10 月 WMA フォルタレザ総会[ブラジル]で修正版）及び人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（2015 年 12 月 22 日）に従って本研究を実施します。

個人情報の保護：

患者さんの情報は、個人を特定できる情報とは切り離した上で使用します。また、研究成果を学会や学術雑誌で発表されますが、患者さん個人を特定できる個人情報は含みません。

利益相反について：

本研究は、放射線科の研究費によって実施しておりますので、外部の企業等からの資金の提供は受けておらず、研究者が企業等から独立して計画し実施するものです。従いまして、研究結果および解析等に影響を及ぼすことはありません。また、本研究の責任医師および分担医師には開示すべき利益相反はありません。

本研究の対象となる患者さんで、ご自身の情報は利用しないでほしい等のご要望がございましたら、大変お手数ですが下記のお問い合わせ先までご連絡ください。

お問い合わせ先：

順天堂大学医学部附属浦安病院 放射線科

電話：047-353-3111 （内線）3267

研究担当者：齋藤アンネ優子